



# 裁量トレードを自動化すると 何が起きるのか？

SwingSniper EA化実験レポート by 鼻ツッペ

人間の感情もバイアスも一切入らない  
状態で、どんな結果になるのか。  
そこを見てみたかったわけ！

# 最初に言っておくね。これはEA販売の話じゃないよ！



- 目的：ロジックの客観的な検証
- 対象：裁量トレードの考え方  
(SwingSniper) をテスターで再現

あくまでロジックの位置精度を確認するためのテストだよ♪

# 裁量トレード最大の罠：「都合のいい記憶」

人間は成功体験だけを鮮明に覚え、失敗を忘れがち。



ストラテジーテスターはすべてのトレードを記録する。  
「記憶の偏り」を排除することこそが、EA化検証の最大のメリット。

# EA検証の条件設定

🔄 [通貨ペア] : AUDJPY

🕒 [時間足] : 4時間足

📅 [期間] : 2025年10月1日  
→ 2026年3月3日

✅ [設定] : 買いのみ

なんでAUDJPY?  
なんで買いのみ?  
理由は次のページで!

# 通貨強弱：トレンドを生み出すパワーバランス



- AUD強 × JPY弱 = 強い通貨を買って、弱い通貨を売る（明確なトレンド環境）

Note: AUDとUSDのように「どっちも強い」とレンジになりやすい。

SwingSniperは「押し目トレード」。だからこそ、通貨強弱ベースのトレンド環境を選ぶ必要があった。

# 見るべきポイントは「勝率」ではない

初心者は勝率だけを見がち。でも、1回の負けが大きすぎたり、エントリー位置がめちゃくちゃならかな意味がない。

~~勝率  
90%!~~



- 押し目で入っているか？
- 構造の中で入っているか？

本当に大切なのは「エントリー位置の質」。

EA検証で見えた残酷な真実

EAは「環境認識」ができない。



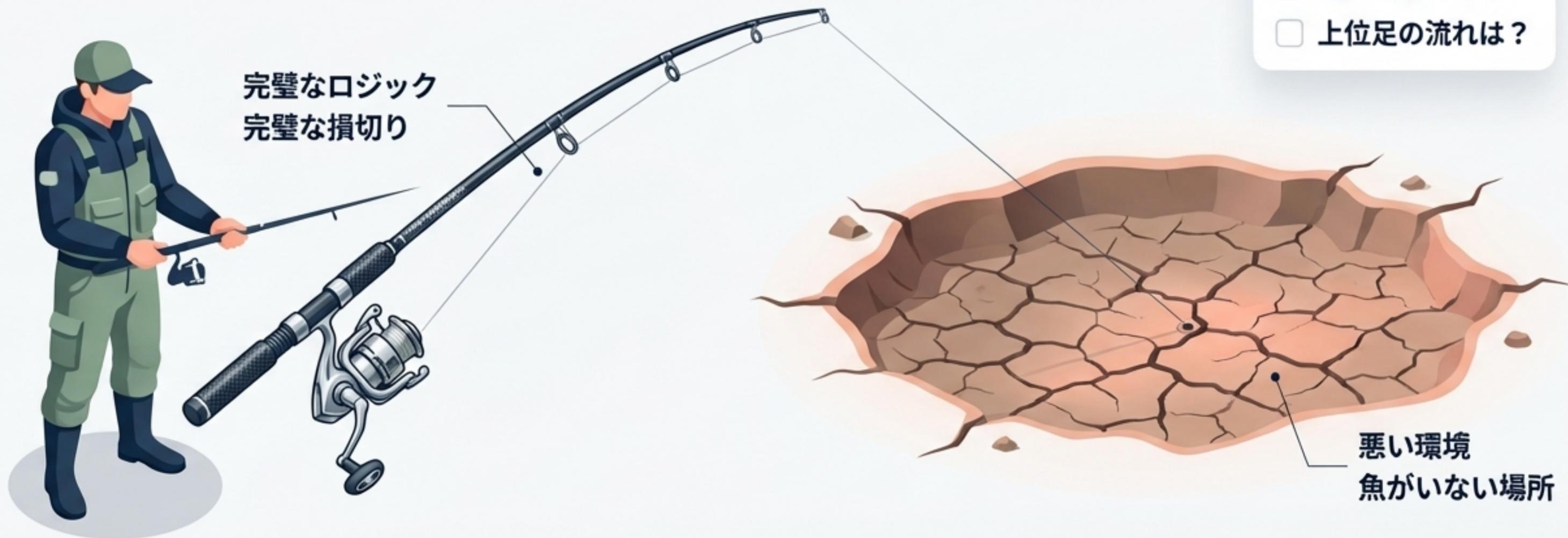
つまり、  
裁量トレードの本質は  
『エントリー』ではなく  
『環境判断』に  
あるってこと！

レンジかトレンドか？通貨強弱は？上位足のダウ構造は？  
これらを判断することは、機械にはほぼ不可能。

# トレードは「場所選び」が8割

どんなにエントリーが上手くても、どんなにロジックが優秀でも、  
環境（相場）が悪ければ勝てない。

- 今はトレンドか？
- 通貨強弱は？
- 上位足の流れは？



# それでもEA化検証に価値がある理由

環境認識は人間にしかできない。  
しかし、EA化することで「エントリー位置の客観評価」が可能になる。

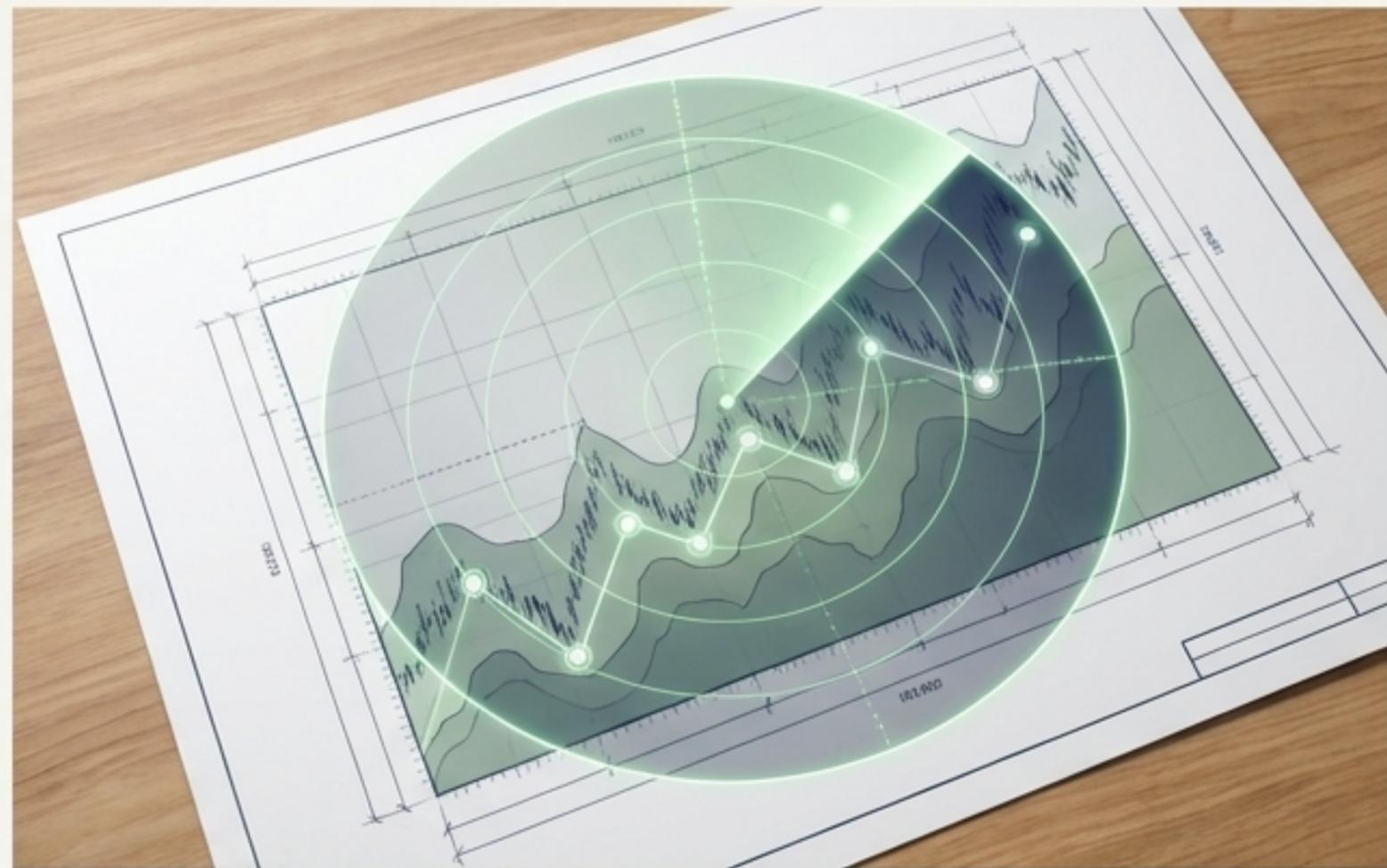
- ✓ どこで入るのか
- ✓ どこで負けるのか
- ✓ どこで勝つのか

これらがクリアに見え、  
裁量ロジックの改善に直結する。



# SwingSniperは「サインツール」ではない

「ここで買え！」という指示器ではない。目的は「押し目構造の検出」。



[通貨強弱] + [MTFダウ] + [環境認識] + SwingSniper = 最終判断はトレーダーが行う。

# 「サイン即エントリー」の落とし穴

サイン即エントリー

Box 1

レンジ相場で  
ブレイクサイン  
→ ダマシ

Box 2

通貨強弱が逆の時に  
買いサイン → 負け

買い

売り

Box 3

上位足が  
下降トレンド時に  
買いサイン  
→ 逆張り

サインツールは環境を見ていない。だから『サインは参考程度、最終判断は自分』が鉄則だよ！

# ブレイクアウトで勝てない本当の理由

多くの人々が「ラインブレイクだけ」を見ている。  
しかし、相場はラインではなく「構造」で動く。



トレンドの本質は【上昇 → 押し目 → 上昇】。  
ブレイクアウトの本質は「押し目」である。

# ライン vs 構造：どっちが大事？

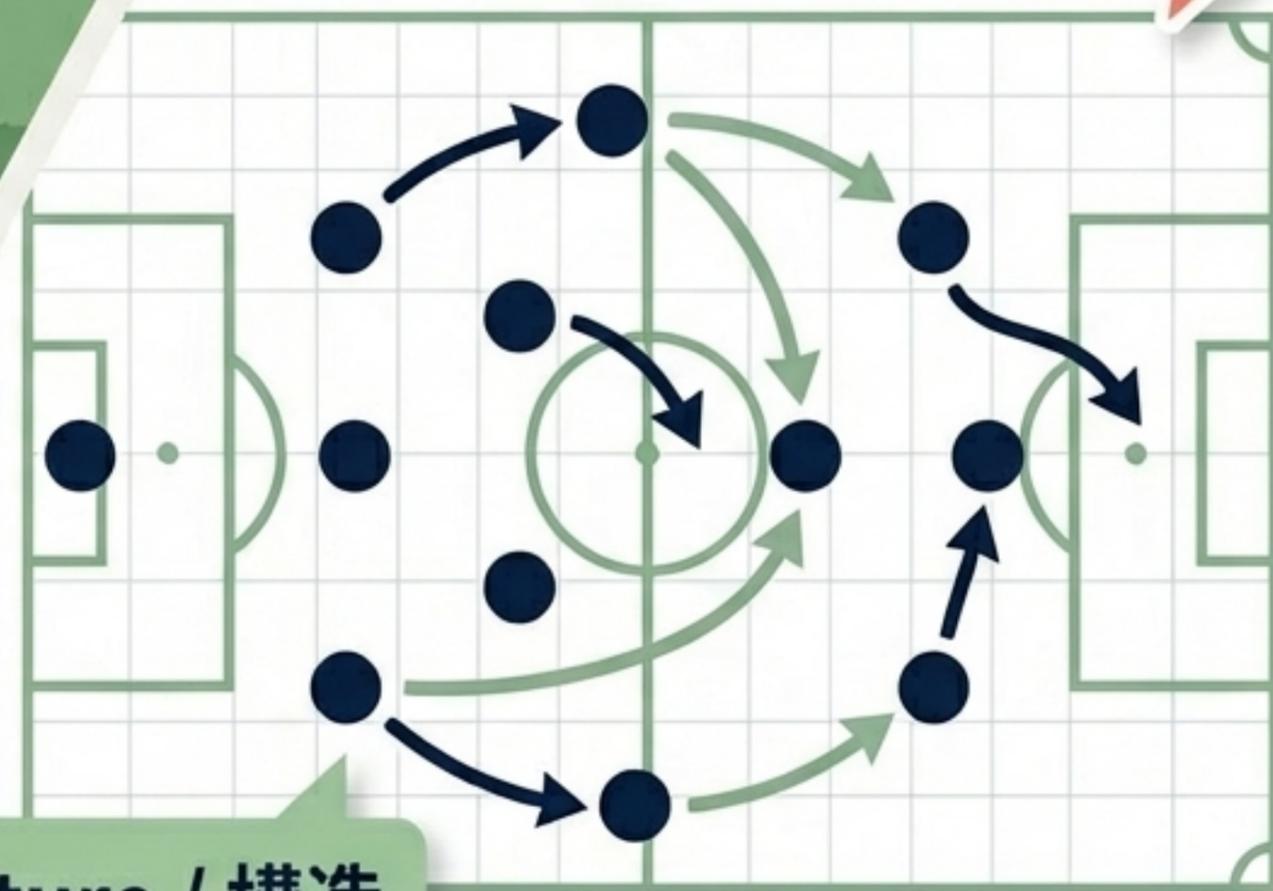


Line / ライン

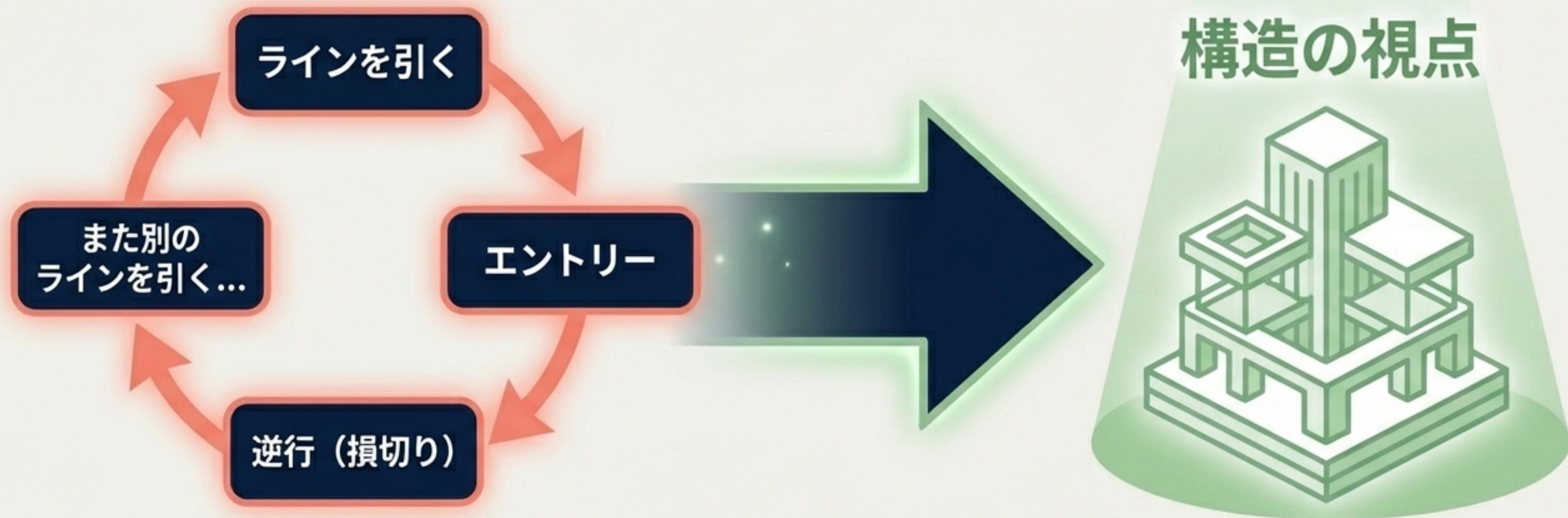
ゴールライン（ライン）を見ているだけでは試合に勝てない。チーム全体の攻撃の形（押し目・戻り目・ダウ理論の構造）を理解することが必須。

ラインはあくまで目安。  
大事なものは構造だよ！

Structure / 構造



# 僕も昔は「ラインブレイクマン」だった(笑)

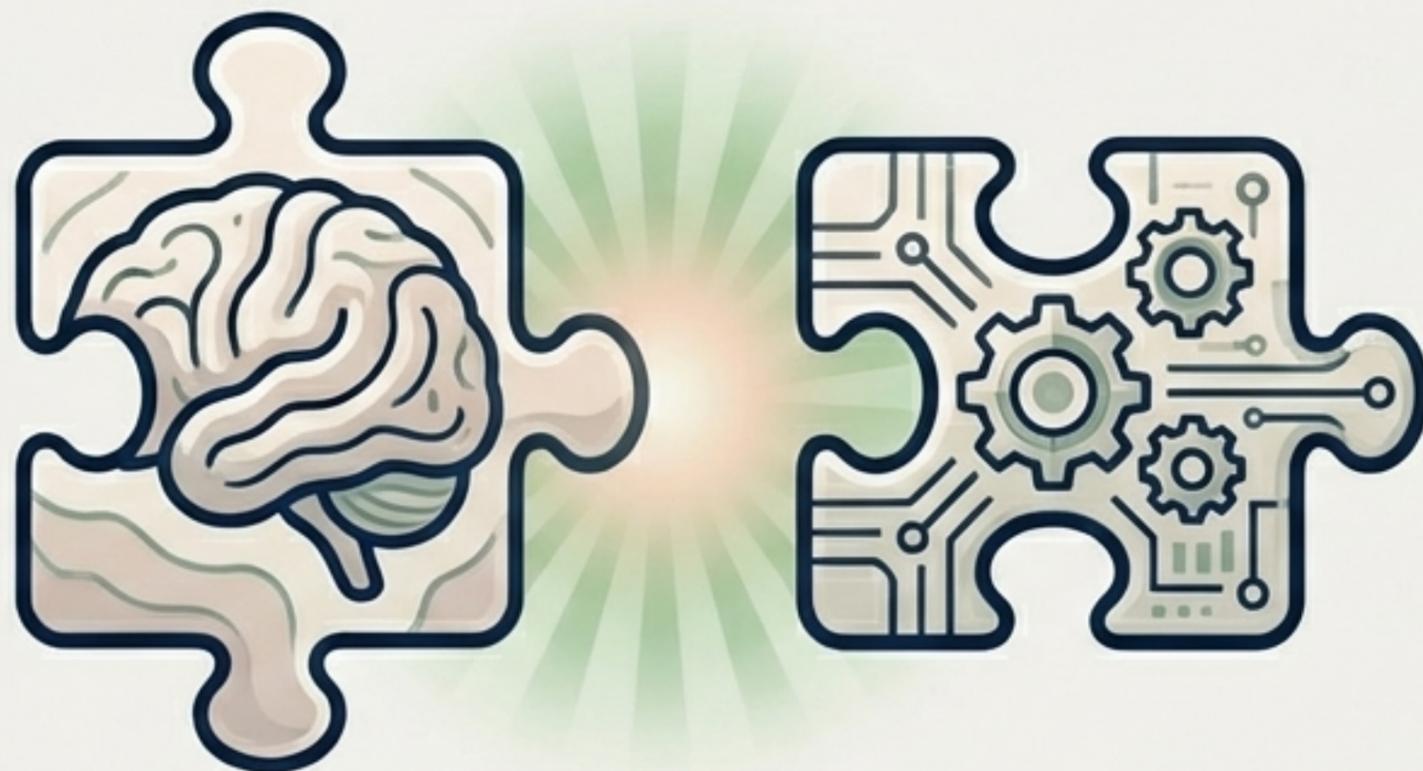


ラインを抜けた瞬間に飛び乗って逆行する日々。  
そこから「構造の視点」を学び、「あ、このブレイクは  
押し目じゃないな」と判断できるようになった。

ダマシに引っかかる回数が激減！

# まとめ：裁量とEAの「いいとこ取り」が最強

人間の脳  
環境認識



AI・ギア  
客観的検証

- EAは環境認識ができない → 裁量判断が必須
- EA化で客観的に見える → ロジックの改善に最適
- ブレイクアウトの本質 → ラインではなく「構造」

「EA化は販売のためじゃなく、自分のロジックを客観的に見るツール。  
焦らずコツコツ、一緒に成長していこうね！☆」